

小郡市同和問題市民講演会

福岡県では、同和問題について一人ひとりの正しい理解と協力を得るために毎年7月を同和問題啓発強調月間と定め、啓発行事を中心とした様々な取り組みを実施しています。

小郡市では同和問題市民講演会を下記の要領にて開催いたします。

【と き】 7月11日(土) (受付)午後1時 (開演)午後1時30分

【ところ】 小郡市文化会館 大ホール (※要約筆記・手話通訳あり)

【内 容】 「対論 部落問題」～差別をどう乗り越えるか～



【対 談 者】

部落解放同盟中央本部
中央執行委員長

組 坂 繁 之 さん

1943年福岡県生まれ。大学卒業後、27歳で部落解放運動に入る。他に、折尾愛真短期大学非常勤講師、世界人権宣言中央実行委員会副実行委員長等を歴任。



【対 談 者】

大宅賞作家

高 山 文 彦 さん

1958年宮崎県生まれ。2000年『火花－北条民雄の生涯』で大宅壮一ノンフィクション賞受賞。著書に『「少年A」14歳の肖像』『水平記－松本治一郎と部落解放運動の一〇〇年』等。

◇コーディネーター 古賀淳二さん (小郡市人権教育啓発センター)

2008年9月に平凡社から出版されている「対論 部落問題」(著者 組坂繁之・高山文彦)を踏まえて対談していただきます。

高山さんが、松本治一郎の生涯について、「水平記」という作品にまとめた経緯をはじめ、「現代の部落差別の実態」や「どうして差別意識はなくなるのか」、「今に残る差別をどう乗り越えるのか」などについて、わかりやすくお二人に対談していただく予定です。

入場は無料です。市民の皆さんの参加をよろしくお願いします。

問い合わせ先 人権・同和教育課 ☎ 72 - 2111 内線 532

福岡県「同和問題啓発強調月間」講演会

◆ と き 7月25日(土)/午後0時40分開演

◆ と ころ 春日市クローバープラザ 大ホール

◆ 内 容 【講 演】 午後0時45分～2時15分

演 題 「生活の中の人権 ～一人ひとりが自分らしく生きるために～」

講 師 清原隆宣さん (奈良県西光寺副住職)

【映 画】 「おくりびと」 午後2時30分～4時20分

小郡市人権・同和教育研究協議会総会 記念講演会

5月16日(土)に小郡市同研の総会が開催され、「立花町連続差別ハガキ事件」と題して記念講演がありました。この事件は、2003年から現在に至るまで、44通もの差別ハガキが被差別部落出身者の自宅や勤務先等に送付された悪質極まりない事件です。今なお差出人が誰であるのかが特定されていない未解決の事件です。被害を受けた当事者の方より事件の経過や犯人に対する思い、支えてくれる家族や仲間への思いなどを語っていただきました。提出されたアンケートより、参加者の声をご紹介します。

- ◆犯人は自分のことを知っているのに自分は犯人の顔を知らない。いつ犯人が自分を見ているかもしれないという状況はとても恐ろしいと思います。毎日生きていくことがつらいと思います。部落差別や人種差別など、いろんな差別がありますが、生まれてくるときは何も選べません。それなのに、ただそれだけの理由で、差別を受けなければならない、そのようなことはあってはならないと思います。
- ◆「たった一枚のハガキが命をも奪いかねないナイフになる」この言葉が重かった。
- ◆差別ハガキ事件の被害にあわれてある方の生の声を聞くことができ本当にその卑劣さに腹立たしく思います。連れ合いさん、息子さんのことを思うとそんな中で毎日生活されてあることに胸が痛みました。犯人がいまだに捕まらないような社会を変えていかなければと思いました。しっかり子どもたちと向き合い、差別について考えていこうと思います。

平成22年度高等学校等奨学金予約奨学生募集

福岡県教育文化奨学財団では、勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な人に対し、奨学金の貸与を行っています。

- 【種類】 入学支度金（無利子）、奨学金（無利子）
 - 【募集期間】 7月上旬～各学校が定める期日
 - 【申込要件】
 - ・平成22年4月に高等学校などに進学を予定していること。
 - ・保護者が、福岡県内に生活の本拠を有していること。
 - ・特に経済的理由により修学が困難であること。
- ※緊急募集(家計の急変により修学が困難となった場合)については、高等学校で随時受け付けています。
- 【問い合わせ先】 在学している各中学校（7月上旬以降）